PUBLIC TALK

学校は だれのもの
―中国の教育政策を考える―

学校は、子どもたちが知に触れ、自己を確立し、大きな世界への一歩を踏み出すための大切な場所です。ところが、チベットで、東トルキスタンで、南モンゴルで中国政府が推進する教育政策は、学校が「学ぶ場所」ではなく「奪う場所」になっています。教育はだれのものなのか。最前線の研究者が、知見と経験から実態を語ります。

ゲストスピーカー

ギャロ氏
（GYALLO）
雲南師範大学元教授　チベット人
教育社会学者

ムカイダイス氏
（MUQEDDES）
千葉大学元講師　ウイグル人
文学研究者

ゴブルド・アルチャ氏
（ARCHA GOVRUD）
神戸大学講師　モンゴル人
歴史学者

オブザーバー

パトリック・プーン氏
（PATRICK POON／潘嘉偉）
東京大学客員研究員　香港人

コメンテーター

阿古智子氏
（AKO TOMOKO）
東京大学大学院教授　社会学

ご参加のご連絡をお願い申し上げます

入場無料

日時: 2024年7月21日（日）14:30〜17:30（予定）
場所: 東京大学駒場キャンパス2IKOMCEE EAST K0II(BI)
(東京都目黒区駒場4-6-I)

主催: スチューデンツ・フォー・フリーチベット・ジャパン